



# りんごづくり体験学習



名和公民館では、子どもカルチャー事業として「りんごづくり体験学習」を毎年行っています。これは、子どもたちが食べものを育てることの大変さを、りんごの栽培を通して学ぶ年間講座です。

## 「食べもの」を「育てること」の大変さを体験

天候に大きく左右される農業。りんご園の園主、田草健二さんの「りんごづくりにかけるお話」は、まるで戦いのようです。子どもたちは田草さんの話をレポートにまとめたのち、実際にりんごの栽培作業を体験します。

6月の「りんごの摘果と袋かけ作業」、10月の「除袋作業」、そして11月に「収穫作業」を田草さん指導のもと行い、子どもたちは食べものを育てることの大変さを学びました。



10月、除袋作業をしました  
高いところも平気です



11月、今年もたくさんのりんごを  
収穫しました

## 活動の成果をカタチに～収穫したりんごでジャム～

例年、活動の締めくくりに子どもたちは収穫したりんごでお菓子作りをします。今回は公民館ボランティアの方と話し合い、お菓子のほか、りんごジャムを作り、東日本大震災の被災地へ届けることにしました。

子どもたちが作った手作りジャムは、お手製のラベルをピンに貼り、本町の職員が支援活動した宮城県女川町へと送ることにしました。ラベルには「おいしく食べてください」「みんな一人じゃないよ」と励ましの言葉も添えました。



12月、りんごジャム作り開始！  
包丁使いも上手です



りんごを煮る人、砂糖の分量を計る人  
など、それぞれがしっかり仕事をしました



できあがったジャムを  
ていねいに詰めました



子どもたちが作ったジャム160個が  
宮城県女川町の被災地へ

## 喜びがいっぱい

今回の体験活動は、食べものを育てることの大変さを知り、収穫の喜びを得るほかに、自分たちの働きで多くの人に食べていただくという喜びも加わり、充実した内容になりました。

◆2010年7月号から掲載してきました「食育コーナー」は今号で終了します。今後は、ホームページなどで情報提供をしていきますので、ご期待ください。